

## 日本海近隣諸国音楽が日本音楽の形成への影響文化の変遷

中山 妙子 徳島 達也

日本は明治維新以降の急速な西洋化に走り、日本文化と教育に大きな改革と影響を与えてから約 150 年が流れました。現在の小中学校から高校・大学・青少年に至るまでブラスバンド、管弦楽などの教育、活動が浸透し、日本音楽の教育は極めて小単位が現実であり、私の研究ねらいでもあります。

その中で日本海近隣諸国音楽を語るには、やはり、始めに西洋の宗教思想が日本音楽に与えた影響を第一のテーマとまとめました。

### 1. キリスト教系の音楽から（その2）

「バッハ、ベートーベン、モーツァルト」その後の 100 年とし、代表者 3 人。

◎ シューベルト 1797～1828 享年 31 才。

オーストリアのウィーンに生まれ、貧窮の環境にありながら、120 曲の歌曲を作曲。代表作は「冬の旅」「アベマリア」「白鳥の歌」「シューベルトの子守歌」他。

作品には絶望感、さすらい感が流れているが、優しい母の愛とカトリック信仰の敬虔さの救いも表現されています。

ベートーベン亡き後のロマン派の喜怒哀楽の表現の豊かさも受け継いだ音楽家と言えます。（彼の友人たちは、音楽でも人生でも誠実であったと評しています）。

Ave Maria  
アヴェ・マリア  
Franz Peter Schubert, D839

Lento

pp

◎ メンデルスゾーン 1809～1847 享年38才。

ユダヤ系ドイツ人、ルター派キリスト教の豊かな家庭で育ち、語学も堪能。作曲家、ピアニスト、指揮者としてベルリンとパリで活躍し、バッハ音楽を愛し、バッハ音楽の復活者と言われました。自分の作品のみならず、ベートーベンの作品までをオーケストラで演奏。代表作は「真夏の夜の夢」「バイオリン協奏曲ホ短調」。

1843年にライプツィヒ音楽学校の創立者としての功績は偉大と思います。

彼の特徴は古典形式を継承しつつ、ロマン派形式を融合した憂い感ある繊細な表現力と言えます。

◎ ショパン 1810～1849 享年39才

ポーランドのワルシャワ、信仰心ゆたかな家庭で、十分な音楽教育を受けて成長し、ウィーン～パリで活躍。神と人を愛した熱心な聖人としての作曲家です。

ポーランド前期ロマン派作曲家、ピアニスト。ピアノの詩人と評され、ピアノ独奏曲を多く作曲しました。代表作である「ポロネーズ」「ワルツ」の舞曲は明るく軽やかな表現、「ノクターン」「マズルカ」はパリ社交界的な表現が顕著です。

幼少期にモーツァルトの影響を強く受けて育ち、さらに敬虔なカトリックの家庭環境が生涯の作曲に影響していると思います。「子犬のワルツ」は日本の青少年だれもがクラシック名曲の中でもリズムカルな表現が耳に残る作品と思います。

**Walzer**  
小犬のワルツ

Molto vivace F. Chopin, Op. 64-1

The image shows a musical score for a waltz titled 'Walzer' (Little Dog Waltz) by Frédéric Chopin, Op. 64-1. The score is in 3/4 time, B-flat major, and consists of two systems of piano accompaniment. The first system starts with a treble clef and a bass clef. The treble clef part has a tempo marking 'Molto vivace' and a dynamic marking 'P leggiero'. The bass clef part has a dynamic marking 'P'. The second system continues the piece with similar notation. The score includes various musical notations such as notes, rests, and dynamic markings.

## 2. 大陸からの伝来

### ◎ 中国モンゴル音楽と交流から＝楽器は音階とともに伝来

中国大陸5千年の歴史の中で、シルクロードの役割は西洋諸国～地中海～西アジア～チベット～中国大陸間の交易路だけではなく、音の文化に深い歴史を刻みました。

シルクロードによって伝来した音楽・楽器の例として「琵琶（バルバット）」と「火不思（クーブーズ）」を調査しました。イラン、インドの楽器が変化し、シルクロードを通じて、唐朝中国から奈良朝日本に伝来し、雅楽に取り入れられました。

日本雅楽の音階調子である沙陀（さだ）調、盤渉（ばんしき）調には、古代インドから中国宮廷楽舞の音階に伝来された流れと影響が見られ、琵琶音楽にも生きています。

正倉院にはイラン系の四弦琵琶、インド系の五弦琵琶、中国系の秦琵琶が保存されています。

「火不思（クーブーズ）」の歴史には諸説ありますが、チベットが起源と考えられ、中国清朝に記録があり、江戸時代の三絃に琉球蛇皮線の楽器の絵が残されています。

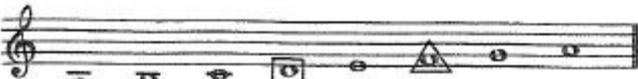
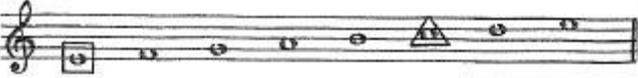
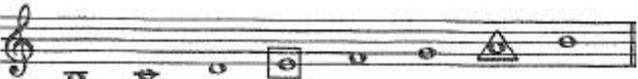
「火不思（クーブーズ）」は中国三絃の起源であり、沖縄に伝わり蛇皮線となり、さらに日本に伝来し三味線に発展しました。

右図は清朝の「火不思（クーブーズ）」



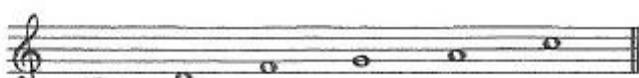
### 3. 教会旋法の音階とその他の民族的な音階（日本音楽はその一つ）

古代ギリシャの音階が中世期にまで教会音楽の作曲にみられます。全音と半音の位置に特徴があり数例をあげました。

1. ドリア（正格）	
2. ヒポドリア（変格）	
3. フリギア（正格）	
4. ヒポフリギア（変格）	

#### 日本の伝統的な音階

##### 雅楽の音階

呂音階)	
律音階)	

##### 俗楽の音階

陽音階)	
陰音階)	

## ジブシーの音階



この音階の隣接する2音の音程は、主として増2度と短2度で、長2度は1か所だけである。このために、音階はきわめて特徴のある表情をもっている。

## 日本の明治以降の西洋化教育から生まれた十七絃箏の音階

箏(第五絃=D)	十七絃(第一絃=C)
平 調 子	第五絃からラシドレミファソラ……
乃 木 調 子	第五絃からドレミファソラシド……
雲 井 調 子	第一絃からラシドレミファソラ……
楽 調 子	第一絃からドレミファソラシド……
中 空 調 子	第二絃からラシドレミファソラ……
夏 山 調 子	第二絃からドレミファソラシド……

(和声短音階ではソ#を用いる)

◎宮城道雄 1894～1956 代表作 「春の海」「ロンドンの夜の雨」「水の変態」

十七絃は明治時代に活躍し現代にまで愛され偉大な作曲家・演奏家の宮城道雄の考案。西洋の音階を日本音楽の作曲に生かした第一人者です。洋楽を取り入れた作曲にあたり、日本楽器の低音不足を満たすために作られた低音楽器、十三絃箏をバイオリンとするなら十七絃箏はチェロに当たる音域があります。代表作 「瀬音」

旋律や音階は、全世界の民族の日常生活の共鳴音が原型であり、源と言えます。

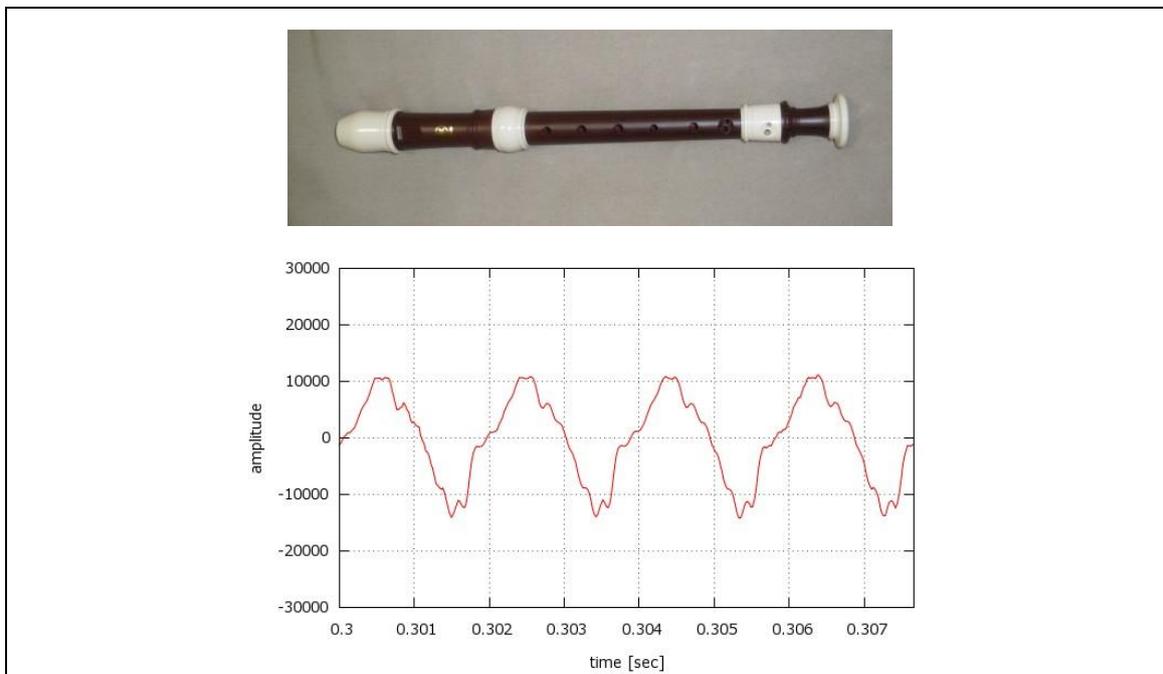
自然現象の音には郷愁感や農耕民族・移住民族の牧歌感があり、木、貝、骨から形成された音・音階・旋律は歴史を経て、民族の信仰心に根ざして作曲され、伝承し、伝来されました。また、世界各地の風土(地域、気候、民族慣習)に適した音を生み出す用具として、管楽器や弦楽器など多くの楽器が誕生しました。

私は広く民族音楽(広くは民俗音楽)を調査する中で日本音楽の中にある小さい間隔の半音程が、西洋音楽より哀しく響くのは島国:日本の農耕民族に由来したと理解できるようになりました。

◎日本楽器と西洋楽器の音響解析による比較例

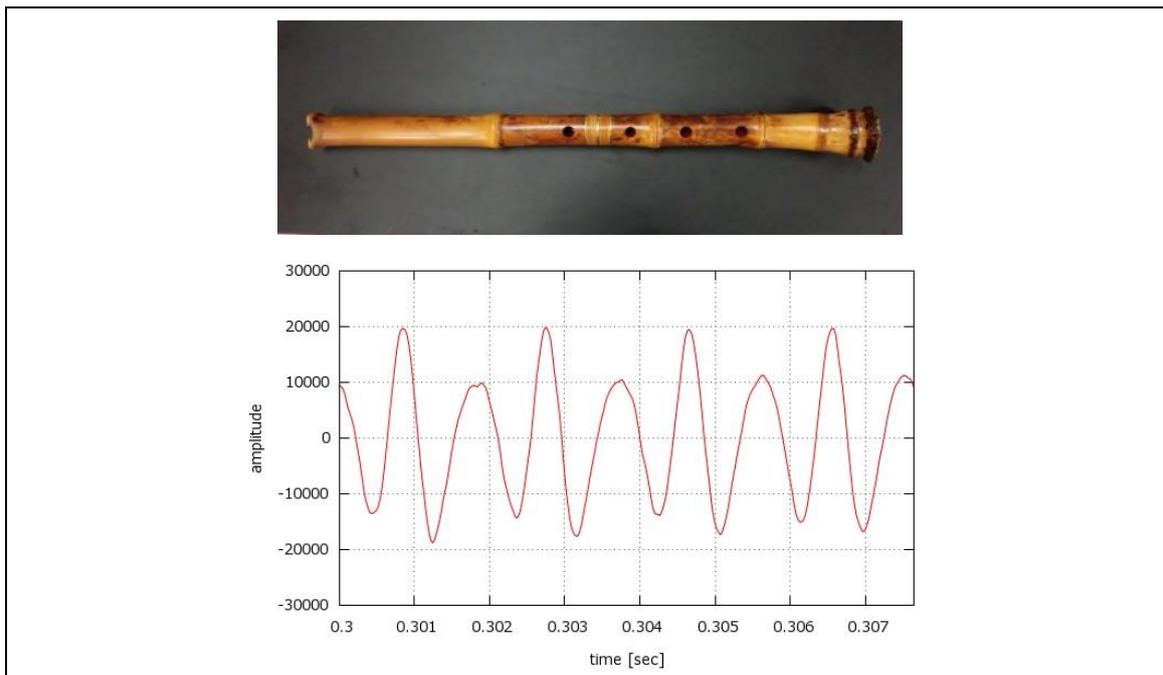
★リコーダー

リードを使わない管楽器・木管楽器（フルートの仲間）で日本音楽に生かされ、安価に購入でき青少年の音楽指導に適して広く大人まで愛好されるようになりました。



★ 尺八

中国の唐代から伝来し日本音楽を発展させた管楽器・木管楽器です。少ない音穴でも音色や音域の広さ深さが豊かな日本を代表する楽器といえます。



参考文献の「日本海地域の民族音楽研究（音響解析による和楽器の特徴について）」では日本楽器と西洋楽器の音響解析を行い、比較しています。この中では西洋楽器では基本波がはっきりと持続して強調され、重厚で力強い音という印象を与えているが、日本楽器は基本波だけではなく、高調波やノイズ成分の割合も多く、振幅の収束も早いといった点で、か細さや繊細さなど、日本的なわび・さびにも通じる印象を与えていると指摘しています。

### 日本音楽に伝来した楽器の例



## 参考文献

教文館	2000年	大作曲家の信仰と音楽	P.カバノー・吉田幸弘訳
音楽之友社	1965年	楽典	石桁真礼生 他
朝日新聞社	1986年	楽器の博物誌	小島 茂
Beliebe design	2011年	日本海地域の民族音楽研究	徳島達也 他
創元社	1965年	日本音楽の歴史	吉川英史
小学館	2004年	文化芸術の経営・政策	枝川明敬